

教育目標「ふるさとを愛し、心豊かに、挑戦し続ける生徒の育成」

新温泉町立夢が丘中学校
平成31年4月12日(金)

夢中たより 蒼空

第 2 号

生徒玄関の桜が満開を過ぎ、音もなく散り始めました。桜の木を眺めながら全身が花びらに包まれてしまいそうです。まさに春爛漫です。4月9日には42名の1年生を迎え、全校生134名でスタートしました。着任式そして始業式では、「和をもって貴し」「怨の心」についてお話をしました。生徒たちの目と耳で聴ける態度に関心をしました。



<担任発表!拍手がです!>

さて、中学生とはどのような年代にあたるのでしょうか。大人でしょうか、子供でしょうか。法律では14歳未満を「児童」、14歳から20歳未満を「少年」、20歳以上を「成人」と言っています。電車やバスは大人料金となりますが、ディズニーランドや博物館では中人料金の設定もあるそうです。

ということは少なくとも「子供ではない」ということはできますね。「子供と大人の間が中学生であり、子供から大人になるための勉強をするのが中学生」ではないかと思えます。子供は自分を客観的にみることがなかなか難しいのですが、中学生になると自分を客観的に見始める時期に達しているといえます。第三者の立場に立って、他人の目で自分を見つめ、「人の目に自分はどうか映っているのか、どのように見られたいのか」を考えられるようになります。「なりたい自分」を考えようとする、それが思春期であり青春といえます。なりたい自分のモデルともなるのが周りの大人です。親だったり教師だったりします。そして、そのとき大人の言動を「醜く感じてしまう」こともあります。このとき生じる「反発や反動」こそ反抗期を象徴するものであり避けては通れないものです。

「え、こんなはずでは」というような言動もあるかもしれません。そのときは「反抗期なんだな」と余裕の目で見てあげましょう。中学校生活で、順調に思春期・反抗期を過ごして立派な大人へと成長することを願っています。

中学校生活の3年間の過ごし方は後の人生を大きく左右させます。ともに生徒の成長を楽しみましょう。

出合橋側道の完成と「渡り初め」4.10



出合橋には以前から歩道がありましたが、幅が狭く生徒の登下校時には、歩く小学生や中学生、自転車の中高生がめまぐるしく通過する難所でした。このたび、念願の出合橋側道が完成しました。この日はあいにく、冬に逆戻りしたかのような冷え込みと横殴りの雨の中での渡り初め儀式となりました。夢が丘中学校からは、竹田、

井土、今岡、旭町の生徒が参加しました。

生徒代表として幸賀奏汰君が、あいさつとテープカットをしてくださいました。町長さんを始め地域の方々も参集してくださり盛大な儀式でしたが、寒さはかなり厳しかったです。しかしこれからは安心です。

1年生の校舎内見学 4.10

校長室前から職員室前の間のローカは静かに歩くエリアとなっています。校長室で聞き耳を立てていまして、しゃべりながらも「シー静かに」などと互いに戒めながら通過する生徒たちの様子がうかがえます。



<リラックスした1年生>

この日は、1年生たちが元気のいい声で「失礼します」「失礼しました」とあいさつをしながらしながら、校舎内部屋を訪問していました。校長室にも来てくれるかなと思って楽しみにしていたのですが、何事もなく通過してしまいました。担任の中沢先生に、「校長室にも来て」と言いますと、生徒たちがやってきました。大きな声であいさつしながら入室し、ソファで足を組んでみたり、おしりを上下させてみたりとてもリラックスムードで訪問してくれました。

平成31年度夢中職員の紹介 ○は定期的に出勤します

担当など	氏名	部活	担当など	氏名
1年代表	楠田美砂子	男バレ	システム	太田 由美
1 - 1	中沢 泰明	ソフト	システム	吉村 弘子
1 - 2	谷口 裕美	女バレ	初任指導	○西村 史代
1年所属	木村 歌織	テニス	事務職員	祝 夕紀乃
2年代表	門脇 昌史	テニス	S A	井上 朋子
2 - 1	伊奈 史雄	卓球女	用 務 員	中井 裕子
2 - 2	尾西 優花	ソフト	A L T	ヴェリティー・ ジョーン・ロバート
2年所属	嶋 佑介	野 球	スクール カウンセラー	○宇都宮 淳子
2年所属	井上 博美	吹奏楽		
3年代表	中村 丈二	野 球	スクール ソーシャル ワーカー	○河越 智子
3 - 1	田中 礼子	吹奏楽		
3 - 2	郷司 昌賢	卓球男	教 頭	田中 豪士
熊木学級	熊木 伸之	女バレ	校 長	小林 正道
3年所属	山根真矢子	男バレ		
養護教諭	倉田まさ子	卓男女		